

問1 和歌山県において、ミカンの栽培が盛んに行われている理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉公立

入試 類似）

1. 黒潮の影響による温暖な気候と長い日照時間を活かし、水はけの良い傾斜地で栽培されている。
2. 夏の季節風による多雨と、広大な平野部にある肥沃な土壌を利用して栽培されている。
3. 冷涼な気候を好む果樹であるため、標高の高い山地や高冷地を拓いて大規模に栽培されている。
4. 冬の積雪から果実を守るために、ビニールハウスなどの施設を利用して促成栽培が中心となっている。

問2 大阪府や兵庫県を中心とする阪神工業地帯の産業構成について述べた文として、背景や実態をふまえて最も適切なものはどれですか。（2020年 岡山公立入試 類似）

1. 自動車産業の集積が著しく、製造品出荷額の過半数を機械工業が占めている。
2. 重化学工業の割合が高いだけでなく、周辺の広大な消費市場を背景に食料品工業も発展している。
3. かつては繊維工業が中心であったが、現在は北九州工業地帯と同様に鉄鋼業の出荷額が最も多い。
4. 大規模な石油化学コンビナートが集中しており、化学工業のみに特化した構造となっている。

問3 京都府の形状と隣接する府県の配置から考える、この地域の地理的特徴を説明した次の文の空欄にあてはまる適切な語句の組み合わせを選びなさい。「京都府は南北に長い形状をしており、（ X ）側で隣接する兵庫県とともに、日本海に面した地域を有している。一方、南側では（ Y ）と隣接しており、内陸部から都市部にかけて多様な境界を形成している。」（2016年 和

歌山公立入試 類似）

1. X：西 Y：大阪府
2. X：東 Y：奈良県
3. X：西 Y：三重県
4. X：北 Y：滋賀県

問4 近畿地方の各府県を比較した統計において、東京都の数値を100とした場合の指数で表したとき、大阪府などの都市部で特に高い数値を示す指標があります。この指標は、地域の消費活動の活発さや商業の集積度を反映していますが、都市部でこの数値が大きくなる理由として最も適切な説明はどれですか。（2014年 兵庫公立入試 類似）

1. 大規模な工場が集積しており、製品の製造と出荷が盛んに行われているため
2. 人口が集中しており、住民や周辺地域からの来訪者による購買力が大きい
3. 広大な平野を利用した近郊農業が発達し、農産物の販売が盛んであるため
4. 大規模な港湾施設が整備されており、海外との原材料の輸出入が多い

問5 和歌山県、奈良県、三重県の3県にまたがる近畿地方南部の急峻な山地では、古くからスギやヒノキの植林が行われてきました。この地域において、高品質な木材を生産するために欠かせない、成長に合わせて一部の木を切り出す作業の名称と、その目的の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 間伐を行い、木々の密度を調整することで、一本一本の木を太く健康に育てる。
2. 輪作を行い、土地の栄養分を回復させることで、木材の成長スピードを速める。
3. 客土を行い、土壌の質を改善することで、病害虫に強い森林を作る。
4. 抑制栽培を行い、木材の出荷時期をずらすことで、市場での販売価格を上げる。

問6 近畿地方の都府県に関する統計において、人口が約556万人、工業製品出荷額が約14兆円という高い水準にあり、大阪府に次いで工業が盛んな県はどこですか。（2015年 富山県公立入試 類似）

1. 兵庫県
2. 三重県
3. 滋賀県
4. 京都府

問7 滋賀県に位置する日本最大の湖である琵琶湖は、近畿地方において「近畿の水がめ」と称されることがあります。このように呼ばれる理由として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 京阪神地域の住民や産業に対し、飲料水や工業用水を供給する重要な水源だから
2. 古くから北陸地方と瀬戸内を結ぶ水上交通の中継地として、物流の拠点だったから
3. 周囲の山々から流れ込む豊富な水を利用して、滋賀県が日本最大の米の産地となったから
4. 水深が非常に深く、日本で最も多くの淡水魚を養殖している供給源だから

問8 近畿地方の内陸部に広がる京都盆地に位置し、「古都」と称される都市について、その特性を説明した文として最も適切なものはどれか。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 歴史的な社寺をはじめとする多くの文化財が残り、国内外から多くの観光客が訪れる観光都市としての性格が強い。
2. 古くから「天下の台所」と呼ばれ、現在は西日本最大の商業・経済の中心地として高層ビルが立ち並んでいる。
3. 瀬戸内海に面した港湾都市であり、古くから貿易の拠点や、重化学工業が盛んな工業都市として発展してきた。
4. 広大な平野を活用した近郊農業が盛んで、キャベツやレタスなどの野菜を大消費地へ供給する農業都市である。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 黒潮の影響による温暖な気候と長い日照時間を活かし、水はけの良い傾斜地で栽培されている。	ミカンの栽培には、年間の平均気温が高く、冬に氷点下になりにくい温暖な気候が必要です。和歌山県では、日当たりの良さに加え、水はけが重要視される果樹栽培の特性に合わせ、山が海に迫る地形を利用した傾斜地での栽培が発達しました。これらは品質の良いミカンを育てるための重要な地理的条件となっています。
問2	<b>答え 2</b> 重化学工業の割合が高いだけでなく、周辺の広大な消費市場を背景に食品工業も発展している。	阪神工業地帯は、古くから「天下の台所」と呼ばれた大阪を中心に、人々の生活に密着した食品や医薬品などの産業が発展してきました。重化学工業が進んだ現在でも、パンや清酒、冷凍食品といった食品工業の製造品出荷額が、他の中京や京浜といった工業地帯に比べて高い割合を維持している点が、入試においても頻出の重要ポイントです。
問3	<b>答え 1</b> X：西 Y：大阪府	京都府の西側には兵庫県が隣接しており、両府県は日本海側の地域（山陰地方や北近畿と呼ばれる地域）において境界を接しています。また、京都府の南側は大阪府や奈良県と接しており、特に大阪府側は淀川沿いや北摂山系を通じて都市機能が連続しています。このように、京都府は北の福井県から西の兵庫県、南の大阪府、奈良県、東の滋賀県、三重県と、非常に多くの隣接府県に囲まれた交通の要衝としての背景を持っています。
問4	<b>答え 2</b> 人口が集中しており、住民や周辺地域からの来訪者による購買力が大きいため	都市部では居住人口が多いことに加え、百貨店やショッピングセンターなどの商業施設が高度に集積しています。そのため、市内の住民だけでなく周辺地域からも多くの人々が買い物に訪れることで、地域全体の購買力が非常に高くなり、小売業年間販売額が上昇します。一方、工場の集積は工業出荷額、農業の発達は農業産出額に関連する指標です。
問5	<b>答え 1</b> 間伐を行い、木々の密度を調整することで、一本一本の木を太く健康に育てる。	紀伊山地では、植えられた木が成長して密集してくると日当たりが悪くなるため、適切な間隔を保つために「間伐（かんばつ）」が行われます。これにより、残された木に十分な日光と栄養が行き渡り、年輪の美しく詰まった高品質なスギやヒノキが育ちます。農業で行われる「輪作」や「抑制栽培」とは異なる、林業特有の工夫です。
問6	<b>答え 1</b> 兵庫県	兵庫県は阪神工業地帯や播磨臨海工業地域を擁しており、工業製品出荷額において近畿地方で大阪府に次ぐ規模を誇ります。統計上も約14兆円という高い数値を示しており、重化学工業から地場産業まで幅広く発展しているのが特色です。三重県や滋賀県も工業は盛んですが、人口規模や近畿主要府県としての文脈から兵庫県が正解となります。
問7	<b>答え 1</b> 京阪神地域の住民や産業に対し、飲料水や工業用水を供給する重要な水源だから	琵琶湖は単に面積が広いだけでなく、その豊富な蓄えられた水が下流の京都府、大阪府、兵庫県といった都市部に供給されていることが大きな特徴です。このように特定の地域全体の飲料水や用水を支える役割を担う場所を、貯水槽に例えて「水がめ」と呼びます。
問8	<b>答え 1</b> 歴史的な社寺をはじめとする多くの文化財が残り、国内外から多くの観光客が訪れる観光都市としての性格が強い。	京都市は京都盆地に位置し、平安京が置かれて以来の長い歴史を持つことから「古都」と呼ばれます。市内には数多くの歴史的な寺院や神社、文化財が点在しており、それらを目当てに世界中から観光客が訪れるのが大きな特徴です。他の選択肢にある「商業・経済の中心地」は大阪市、「港湾都市・工業都市」は神戸市などの特徴を指します。